



東京スカイツリーの
電波塔及び展望台の管理・運営

2020年9月25日

～まもなく東京2020オリンピックまで300日～ 『アスリート トークセッション』を 東京スカイツリー天望デッキで開催しました！

東武タワースカイツリー株式会社

東京2020オリンピック競技大会のオフィシャルサポーターとして活動する東武タワースカイツリー（本社：東京都墨田区）は、東京2020オリンピック開催300日前を迎えるにあたり、2020年9月25（金）に東京スカイツリー天望デッキから東京の眺望を前に、アスリートが未来に向けて、今の「願い」や「想い」を熱く語るトークセッションを開催しました。

当日は、アナウンサー・スポーツアンカーである田中大貴さんをファシリテーターに迎え、東京2020オリンピック自転車競技BMXフリースタイル男子への出場が内定している中村輪夢選手、東京2020オリンピックで競技に採用され注目を集めるスケートボードにおいて金メダル最有力候補としても大きな期待を集めている堀米雄斗選手、ロンドン2012オリンピックフェンシング男子フルーレ団体銀メダリストの三宅諒選手、そしてロンドン2012オリンピックバレーボール女子で銅メダルを獲得した元女子バレーボール日本代表の狩野舞子さんにご参加いただき、スポーツにかける想いを熱く語っていただきました。

トークセッションの後は、『みんなでこの困難を乗り越え、新たな未来に向けて前進するすべての人の気持ちを後押ししたい』という願いを込めて天望デッキに設置した東京スカイツリーの新スポットであるモニュメント「WISH RIBBON」に、アスリートの皆さんがそれぞれの「願い」や「想い」を書き込んだリボンを結んでいただきました。

（オンラインでご参加の堀米選手には「願い」を発表いただきました。）



■リボンに書かれた参加者の「願い」

・中村輪夢選手

「自分に克つ」



・堀米雄斗選手

「Keep it up」



・三宅諒選手

「この結果この経験を次の世代に」



・狩野舞子さん

「世界中のみんなが笑顔でいられる未来を!!」



■東京2020特設ページの公開

東武タワースカイツリー株式会社は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルサポーター（東京スカイツリー®の電波塔および展望台の運営・管理）として様々な活動を行っており、本特設ページにて、その活動の様子を随時公開します。

なお、9月25日（金）に開催した、本アスリートトークセッションの様子も本ページにて公開します。

公開日 2020年11月（予定）

■モニュメント「WISH RIBBON」 ウィッシュ リボン

東京スカイツリーでは、新型コロナウイルス感染症の収束が見えない状況が続く今、『みんなでこの困難を乗り越え、新たな未来に向けて前進するすべての人の気持ちを後押ししたい』という想いを込めたモニュメント「WISH RIBBON」を、地上350メートルの東京スカイツリー天望デッキに設置しました。このモニュメントには、お客さまご自身の「願い」を書き込んでいただいたリボンを結びつけていただけます。

「WISH RIBBON」は、東京スカイツリーが世界一高い自立式電波塔であることの「1」にちなみ、「一番になりたい」、「自分自身の一番の願い」、「みんな一丸となってかなえたい願い」など皆さまの様々な「1」の願い=Wishを「WISH」とダイレクトに表現しました。この「WISH」を象ったモニュメントを取り囲むように、カラフルなりボンに込められた願いが集まり、東京スカイツリーからその願いが届くよう、空に向かって“らせん状”に登っていく様子を表現しています。

設置日 2020年9月25日（金）

場所 東京スカイツリー天望デッキ フロア350



△モニュメント「WISH RIBBON」



△リボン（イメージ）



△「WISH RIBBON」に結ばれたリボン

©TOKYO-SKYTREE